

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市水とみどりの基本計画推進協議会				
事務局 (担当課)		環境共生部水みどり環境課 電話 042-769-8242 (直通)				
開催日時		平成 25 年 9 月 13 日 (金) 15 時 00 分 ~ 17 時 00 分				
開催場所		相模原市役所職員会館 1 階 検診室 1				
出席者	委員	7 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	6 人 (環境共生部長、水みどり環境課長 他 4 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		<p>議 題</p> <p>1 平成 24 年度 相模原市水とみどりの基本計画の実績について  (1) 施策体系による取組み  (2) 重点プログラムによる取組み  (3) 目標水準による達成状況</p> <p>2 平成 25 年度 相模原市水とみどりの基本計画の進行管理について</p> <p>3 生物多様性地域戦略の策定及び緑化条例の改正に係る基本的な考え方について</p>				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

( 委員の発言、 事務局の発言 )

相模原市環境共生部長のあいさつに続き、委員の互選により、委員長に田畑委員を、副委員長に鈴木委員をそれぞれ選出した。

委員長及び副委員長のあいさつの後、議事に入った。

### 1 平成24年度 相模原市水とみどりの基本計画の実績について

事務局による説明の後、質疑応答を行った。

施策体系による取組みの各構成事業の評価は、庁内のプロジェクトチームで付しているのか。

施策体系による取組みの進行管理は、専用の進行管理シートを用いて実施しており、各構成事業を所管する課等で内容を記入している。評価についても、所管する課等で行うこととしている。

各構成事業の評価には、どのくらいの数の課や職員が携わっているのか。

職員数は把握していないが、14の課等が所管を持っている。

評価に携わっている課や職員の数の資料を添付することで、評価のプロセスが明らかになり、好ましいと思われる。

### 2 平成25年度 相模原市水とみどりの基本計画の進行管理について

事務局による説明を行い、意見等はなかった。

### 3 生物多様性地域戦略の策定及び緑化条例の改正に係る基本的な考え方について

生物多様性地域戦略は、他市町村の内容はあまり参考にせず、相模原市に相応しい内容にすべきである。

条例改正については、現条例にて使われている「緑化」の意味を整理するとともに、相模原市を代表するようなキーワードを用意するとよい。

「水」と「みどり」に関する生物の情報を収集すべきである。まずは、本協議会の各委員が保有している情報を集約し、作業ワーキングを組織して種類ごとに分類すればよい。期限を決めて、情報を持ち寄るべきである。

生物の実態を把握しておく必要がある。

生息・生育している生物を守っていくような条例にしていきたい。

保全という視点だけではなく、利用や管理、更新などといった視点からも検討が必要である。

生物多様性には、様々な視点が絡んでいる。

以 上

相模原市水とみどりの基本計画推進協議会 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	田畑 貞壽	千葉大学名誉教授、(公財)日本自然保護協会顧問	学識経験者	出席
2	田淵 俊人	玉川大学農学部生物資源学科教授	〃	出席
3	岡部 誠	(公財)相模原市みどりの協会理事長	関係団体	出席
4	石田 幸彦	桂川・相模川流域協議会監事	〃	欠席
5	高橋 孝子	NPO法人相模原こもれび副理事	〃	出席
6	秋永 真里子	NPO法人境川の斜面緑地を守る会理事	〃	出席
7	鈴木 史比古	津久井郡森林組合副組合長理事	〃	出席
8	熊谷 達男	「小松・城北」里山をまもる会副会長兼会計	〃	出席